	後発品	標準製剤
 販売元会社名	岩城製薬株式会社	
商品名	モメタゾンフランカルボン酸エステル軟膏0.1%「イワキ」	
薬価	20.10円/g	17.90円/g
成分•規格	1g中 モメタゾンフランカル <sup>7</sup>	・ ドン酸エステル 1mg (0.1%)
薬効分類名	副腎皮質ホルモン外用剤	
効能·効果	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症を含む)、乾癬、掌蹠膿疱乳ストロフルス、固定蕁麻疹を含む)、多形滲出性紅斑、慢性円材シャンバーグ病、肥厚性瘢痕・ケロイド、天疱瘡群、類天疱瘡、	<b>反状エリテマト―デス、扁平紅色苔癬、ジベル薔薇色粃糠疹</b>
用法•用量	通常、1日1~数回、適量を患部に塗布	する。なお、症状により適宜増減する。
添加物	サラシミツロウ、白色ワセリン(抗酸化剤としてジブチルヒドロキシトルエンを含む)、モノステアリン酸プロピレングリコール、ヘキシレングリコール、pH調節剤	
製品の性状	白色〜微黄色、半透明の油性の軟膏剤で、わずかに特 異なにおいがある。	微黄白色のなめらかな半固体である。
製剤特性	(1)モメタゾンフランカルボン酸エステルの局所抗炎症効果はVery Strongである。 (アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024) (2)白色ワセリンを主体とした液滴分散型の軟膏である。 ※ 診療報酬上の後発医薬品に該当し、一般名処方加算1,2、後発医薬品の各種体制加算に該当しません。	
	『局所皮膚適用製剤の後発医薬品のための生物学的同健康成人男子19名にモメタゾンフランカルボン酸エステルし、皮膚毛細血管収縮反応(皮膚蒼白化)を色彩色差計を物学的同等性判定のパラメータであるAUEC(皮膚蒼白果、標準製剤との生物学的同等性が確認された。  皮膚蒼白化反応強度の推移(n=19)  8 7 四 四 8 7 四 四 6 2 5	レ軟膏0.1%「イワキ」、並びに標準製剤を単回経皮投生を用いて測定した。 自化反応強度-時間曲線下面積)により統計解析した - 軟膏
標準製剤との 同等性	3   1   1   1   1   1   1   1   1   1	- 標準製剤   20 25 25 25
	1 0 15 10 15 2 製剤除去後経過時間(hr) パラメータ 製剤 AUEC 試験製剤 (軟膏) 66. 24±28. 66 標準製剤 88. 43±26. 34	20 25
	1 0 15 10 15 2 製剤除去後経過時間(hr) パラメータ 製剤 AUEC 試験製剤 (軟膏) 66.24±28.66 標準製剤 88.43±26.34 上記パラメータは、被験者の選択、蒼白化反	20 25